疲れを癒すさなぶり大会

しかま議会だより

第93号
令和7年8月1日発行

６月会議

６月会議（補正予算等）……………………………２Ｐ
一般質問（３名）……………………………………３Ｐ
委員会活動レポート…………………………………７Ｐ
「風の人・土の人」・編集後記………………………８Ｐ

発行住所：宮城県加美郡色麻町四竃字北谷地41番地　TEL：0229(65)2157　Eメール／ gikai@town.shikama.miyagi.jp

補正予算

令和7年度　一般会計予算

1,349万円を増額 予算総額45億7,871万円に

令和7年 6月会議

令和7年定例会6月会議は6月10日から11日まで開催されました。繰越計算書の報告が2件、専決処分の報告及び承認が3件、条例改正が2件、財産の取得が1件、令和7年度補正予算が4件の計12件が提出され、全て原案のとおり可決されました。
一般質問は3名の議員が活発に行いました。

◉一般会計の主な補正予算

事　業　名	金額(単位:千円)
カーブミラー設置工事	226
国勢調査員事務委託料	204
多面的機能支払交付金事業の増額	1,248
学校給食センター食器洗浄機等修繕料	282

◉一般会計　繰越計算書の報告(令和6年度より7年度に繰越)

事　業　名	金額(単位:千円)
公用車購入事業	2,396
物価高騰支援給付金給付事業	1,400
保健福祉センター管理事業	120,634
橋梁維持補修事業	22,640

◉下水道事業会計　繰越計算書の報告(令和6年度より7年度に繰越)

事　業　名	金額(単位:千円)
色麻町浄化センター監視制御設備改修事業	45,000

◉専決処分の報告及び承認

◎色麻町税条例の一部を改正する条例の報告
◎色麻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の報告
◎色麻町地域経済牽引事業促進地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の承認

◉色麻町手数料条例の一部を改正する条例

※証明の交付を「1件につき」を「1枚につき」に改正

◉色麻町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

※投票管理者・投票立会人等の報酬を増額する改正

◉色麻学園学習用端末タブレット等の購入

◎タブレット462台を購入
◎契約金額：33,795,300円

一般質問

町政を問う

3人の議員が問う

❶　工藤　昭憲議員……………………4P

①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

❷　髙森すみえ議員……………………5P

①日本の食料安全保障と色麻町の役割について

❸　小川　一男議員……………………6P

①人事管理について

②地域防災計画について

「議会だより」に掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、質問を要約し掲載しています。詳細については色麻町議会ホームページに載せている会議録をご覧になるか、議会事務局にある会議録を閲覧ください。

Q 健康寿命を延ばす事業か
A フレイルの改善を図る事業です

工藤　昭憲議員

工藤
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施は、保健指導や栄養指導・健康診断等を通じてフレイル（虚弱）予防に努める、しいて言えば健康寿命を延ばす事業と聞いているが具体的な内容は。

町長
75歳以降になると実施主体が後期高齢者医療広域連合に移り、主に健康診断のみの実施となり、後期高齢者になっても健康寿命を延ばす取り組みは重要です。
加齢に伴って心身機能が低下し、健康な状態と要介護状態の中間に位置する、フレイルの改善を図る事業です。

工藤
この事業の要点は。

渡邊町民生活課長
高齢者保健事業と国保による保険事業と生活機能の改善を支援する介護予防事業を一体的に実施する事です。

工藤
町単独で行うのか、国県等連携して行うのか。その際の役割は。

渡邊町民生活課長
市町村は、広域連合の委託を受けて事業を実施することになりますが、国、県、国保連、医療機関等と連携して実施。
国は、事業の方向性を明示、支援のガイドラインを提示、特別調整交付金の交付などを行います。
県は、広域連合や市町村に対する助言・援助、事例の横展開など。
国保連は、各種データの提供、研修の実施。
医療機関は、取り組みへの助言・支援、かかりつけ医との連携強化。
広域連合は、事業の方針や市町村との連携の明確化、データ提供や支援、事業実施に必要な経費を委託費として交付します。

工藤
参加率の向上対策は。

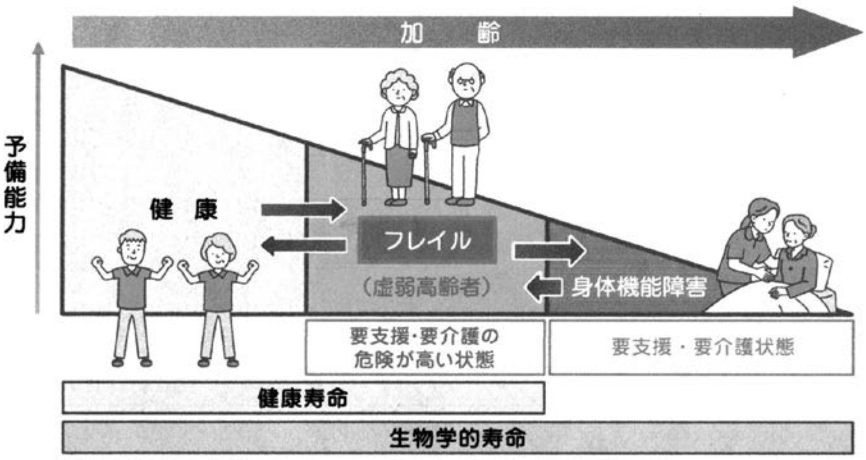
高橋保健福祉課長
現在21名の参加者がおりますが、広報誌等で周知を図ります。

工藤
対象年齢ごとの人数は。

高橋保健福祉課長
保健指導と栄養指導は、40歳から74歳が対象ですが、一体的事業は重症化しやすいとされるハイリスク項目ごとに対象者を抽出し、対象者ごとに個別支援を行います。
今年度は、医療・介護・検診に関するデータがない健康状態が不明な方17人について健康状態の把握を行い、受診勧奨や保健サービスに繋げる取り組みを行います。

工藤
昨年からの事業だが、減額した理由と、それを踏まえ、7年度事業にどう工夫改善したか。

渡邊町民生活課長
予定していた職員が退職した事で別の職員が他の業務と兼務することになり、従事した時間数×時間当たりの単価で算出したためです。
管理栄養士・保健師共に新たに採用したので、今年度は昨年より、充実改善される見込みです。
事業実施2年目ですが、より良い保険事業ができるよう、関係団体と連携していきます。



葛谷雅文（2009）　老年医学におけるSarcopenia & Frailtyの重要性、日本老年医学会雑誌、46、p279−285
佐竹昭介（2015）　フレイルの一次スクリーニング、p32−39、フレイルの予防とリハビリテーション、医歯薬出版株式会社
を参考に一部改変

出典元：国立長寿医療研究センターHP「フレイルの概念図」より引用
https://www.ncgg.go.jp/ri/advice/27.html

Q 食料安全保障における色麻町の役割は

A 農地を十分活用することです

高森すみえ議員

高森 **色麻町の非農家世帯の数は。また、米高騰によるこれらの世帯への支援策は考えているか。**

町長 町内の非農家世帯は1,400世帯と推測しています。

また、米の販売価格高騰に対する町としての支援策は、現在のところ考えておりません。

高森 **現在の日本の食料自給率は38％といわれているが、これを上げるために色麻町ではどのような取り組みができるか、ビジョンはあるか。**

町長 担い手への農地集積や圃場整備を実施して規模拡大が図られ、県内でも上位となっています。

また、令和7年3月、10年後、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかを、話し合いでまとめた地域計画を策定いたしました。

高森 **食料自給率がこれほど低い中で輸出を促進する方針が掲げられているが、これについて町長の見解は。**

町長 輸出が増える事で国産米の需要が高まることは歓迎すべきだが、米の情勢について先行きの不透明感は否めませんので、今後の国の動向を注視していきたいと考えています。

高森 **日本では多くの食料を輸入に頼っているが、残留農薬、基準を超えるホルモン剤使用など不安なものが多い。**

色麻町で生産される食品を、オーガニックや有機栽培に力を入れていく考えはないか。

町長 あくまでも国の基準に合った精査をするのが一番と考えています。

高森 **耕作放棄地の有効活用として、稲作を自分でやってみたいと思う人や体験型農園用に貸し出すような方法も考えられるが。**

町長 今のところそのような目的で農地を貸したいという町への相談はありません。

そのような場合、間に入ることは可能だが、貸すに当たっていろいろな不安もあるので、単純に判断できないような時もあります。

荒廃農地を作らないように慎重に考えていこうと思います。

高森 **食料安全保障における色麻町の役割はどのようなものと考えるか。**

町長 農業分野における地方自治体の役割は、生産基盤の維持だと考えています。それには生産者が安心して耕作できるような体制づくりが重要と考えます。

規模を拡大し、生産性を高めていく。そして農地を十分に活用し、荒廃農地を減らしていく事も大切だと思います。

Q 任用職員の任期見直しは
A 継続任用が可能な運用

小川　一男議員

小川　**一般職員の第5期定員管理計画の基本方針は。**

町長　令和7年3月に第5期（令和7年度〜令和11年度）定員管理計画を改定しました。限られた人員を効果的に配置し、効率的かつ持続可能な組織運営の実現をするため、計画に沿った定員管理と必要な人員確保を基本方針としています。

小川　**計画職員数と部門別職員数は。**

遠藤総務課長　第5期の総職員は、105人を目標としました。

部門別では普通会計が86人、公営企業等会計が11人です。更に派遣職員3人、暫定再任用短時間勤務職員5人です。

小川　**任用職員等雇用予定調書は作成されているのか。**

遠藤総務課長　会計年度任用職員等雇用予定調書は作成していません。

会計年度任用職員に関しましては、11月に次年度任用職員の人員数調査を実施し、その結果を踏まえ当初予算に計上する流れになっています。

小川　**令和7年度の雇用状況は。**

遠藤総務課長　7年度の雇用状況は、フルタイム2人、パートタイム46人の計48人任用し様々な業務に従事しています。

小川　**任用職員の任期についての考え方は。**

遠藤総務課長　会計年度任用職員は、原則1年ごとの任用であり雇用の安定性が乏しい点があります。

しかし、本町では人事評価記録書の提出、個人面接して人事評価を行い、その後希望される場合は継続任用、継続した勤務についても可能とする運用を行っています。

Q 防災士の育成と公費補助は
A 資格取得支援事業を検討

小川　**防災活動体制で勤務時間外の自主配備の具体的内容は。**

町長　夜間や休日などの勤務時間外の場合は、発令区分にある大雨警報等の発令や震度5以上の地震発生に応じて、配備する課の職員が自主的に出勤し、配備体制をとることにしています。

小川　**食料及び生活物資等の備蓄関連で、備蓄場所や品目等は、点検、洗い出しの状況は。**

遠藤総務課長　9箇所に備蓄し、品目は次のとおりです。

- 非常食（ご飯・パン等）飲料水等
- 毛布、タオル、マスク、トイレットペーパー等

備蓄品については、職員2名で年数回在庫管理を実施しています。

また、非常食や飲料水は、町総合防災訓練や自主防災組織、色麻学園並びに加美農校が実施する防災教育や訓練する時に配布することがあります。

小川　**防災士の育成・活用と公費補助の考えは。**

町長　現在、本町では防災士の育成、資格取得に関する公費負担は実施していないが、今後は防災士の制度や活動等を広く町民自主防災組織に対して認識していただけるような取組みを展開し、防災士資格取得の要望状況に応じて、公費負担による資格取得支援事業の実施について検討します。

委員会活動 Report レポート

総務教育常任委員会

委員長　河野　諭

1、調査期日

令和7年4月22日（火）

2、調査事項

①教育総務課
- 米、野菜等の物価高騰対策について
- 国際交流について
- 色麻学園で子ども達が使用しているタブレットについて
- 5、6年生の部活動について
- 奨学資金貸付基金の推移について

②企画財政課
- 健全化判断比率の修正について
- 財政調整基金、減債基金、土地開発基金の推移について

③町民生活課
- 国保会計財政調整基金、児童医療費の助成基金の推移について

④総務課
- DX推進計画について

⑤生涯学習課・公民館
- 部活動地域移行について
- 各スポーツ施設の利用状況について
- 生涯学習の状況について

3、まとめ

今回の調査では、各委員から指摘・提言がありました。特に財政調整基金は、令和11年度には黄色信号になります。企業版ふるさと納税やふるさと納税の共通返礼品等に最大限力を入れ、自主財源アップに努めていただくことを要望し、報告とします。

指摘・提言を行った委員会

産業民生常任委員会

委員長　小松　栄喜

1、調査期日

令和7年4月24日（木）

2、調査事項

①保健福祉課
- 高齢者等タクシー利用助成事業
- 予防接種事業

②地域振興課
- 移住・定住促進事業
- 交流人口増加事業

③建設水道課
- 道路舗装修繕事業
- 下水道施設整備事業
- 水道施設整備事業

④農林課
- えごま関連事業
- 森林経営管理制度

⑤子育て支援課
- 子育て支援事業・放課後児童健全育成事業

⑥農業委員会
- 農地法に基づく業務

3、調査方法・目的

担当課から調査事項の事業内容の概要の説明を受け、各委員より質疑応答で実施。

4、まとめ

各事業において成果・効果の考え方や課題等が見受けられた。今後、事業内容の改善精査を図り、更なる町の発展と町民生活の安定、限られた予算と人材の中、行政サービスの向上に努められる事を望みます。

成果・効果の検証

風の人 土の人

まちは、他所（よそ）から来た“風の人”と、地元に生まれ育った“土の人”で成り立ち、まちの風土が作られていく

外からの風を呼び込んでいきたい

宿地区
齋藤　真紀さん
さいとう　まき
1984年生まれ
宮城県気仙沼市出身

今年4月に色麻町に引っ越してきて、5月から地域おこし協力隊として活動しています。

色麻町の最初の印象は空が広いこと、山が青いことです。今まで平地の少ない所で暮らしてきたので、全天に広がる夕焼けを初めて見ました。

前職で様々な工事現場を見てきて、自分も作る側の仕事がしたいと思うようになりました。建物に関わる仕事を探していたところ、仙台市の株式会社イストで色麻町で古民家再生・地方創生の仕事があると紹介されました。新しいことに挑戦する機会が巡ってきたのでやってみることにしました。

県内移住とはいえ未知の土地で活動することになります。知らないことを知るのは楽しいので日々勉強していきます。

主な活動内容は、町内の空き家を利活用して移住者や二拠点生活者等の住まい、滞在先候補を増やすことです。空き家をリフォームして次の人に繋いでいきます。

また、交流拠点（改修中の古民家）から外部の人との交流を促進する取り組みをしていくことです。田舎暮らしの導入・体験ができる宿泊施設や、畑・陶芸・ガラス工芸の設備等を準備しています。

建物を通じて人の流れをつくり、外からの風を呼び込んでいきたいです。

次回の会議は 9月4日㈭です。

議会の様子はパソコン・スマホで、生中継（録画）されております。

編集後記

気象庁によると、今年6月の東京は46年振りの8日連続の真夏日でした。地球温暖化の影響と思われます。

それに伴い、我が町においても熱中症が心配されます。昨年全国で熱中症で救急車利用者が9万5,778件、又、農作業者は5月から9月で2,322人。過去5年で最多でした。

対策として
- 30分に一回の休憩
- 体を冷やす
- 冷水150mlを8回程度取る
- 喉が渇く前に水分補給する

などして健康に努めましょう。

文責　西村義隆

議会広報常任委員会

委員長　天野秀実
副委員長　西村義隆
委員　小川一男
委員　工藤昭憲
委員　髙森すみえ
委員　今野公勇
委員　白井幸吉